



7月1日、丸井今井デパートにて、販売実習会が行われました。保護者や地域の事業所のサポートを頂き、高校3年生34人で9つの町内事業所から仕入れた90点の商品を販売しました。販売前からは、アスパラ、トマトの販売コーナーには30人ほど並び、2時間で完売。生徒たちは元気にお客さん呼び込み、チラシやかごを手渡しなど細やかな接客を心掛けていました。商品開発をした「トウモロコシうどん」の売り上げは300個を超え、訪れた人は1,000人程と、大盛況でした。



下川商業高校 3年ぶりの札幌販売実習会

共 育 に ゆ 一 す



第2回 学校運営協議会を開催

7月6日、委員14人が集まり、第2回の会議が行われました。前回同様、「義務教育9年間で目指す姿」の中で定めた地域の願いについて、下川中学校から取り組みの説明がありました。13年生が各教科で7つの姿につながる取り組みがあるかを◎で示し、具体的に夏休みの地域でのイベント等をまとめたチラシの作成などの説明もありました。委員からは、「授業での取り組みだけでなく、部活や個人で地域の関わることもできるのでは」「盆踊りや町民運動会など、大人も子どもも交じって楽しめる企画が下川でもつくってほしい」といった意見が出ました。

「義務教育9年間で目指す姿(中学校3年間)」

- 願い① 自分の興味のあることを探究しながら自分なりの学び方を見つけ、主体性を発揮し学び続ける
- 願い② 相手の考えを引き出し、自分の思いを伝え対話することができる
- 願い③ 町内外の多様な大人と出会い、自分の将来の可能性を広げる
- 願い④ 町の自然・文化・歴史を知り、未来の町のあり方に考えを巡らすことができる
- 願い⑤ 小学生や大人から頼られ、地域の人と共に地域の活動に参加する
- 願い⑥ 運動を通じて自分の心と体を健康に保ち、冬のスポーツにも興味をもつ
- 願い⑦ ゲームやSNS等の使い方や情報リテラシーを身につけ、自己管理できる

委員からの意見

絵や運動など、中学生が小学生や幼児、または高齢者に教えるような機会があったらいいのでは

地域のお祭りに中学生が企画を考え、主体的に参加することができたらよさそう

りくらしねっとの「まなびパリスト」などを活用して、もっと町内のサークルに参加することができそう

職場体験DAYを設け、中学生がどこで職場体験しているかがわかるようにしたらどうか

2022年度
重要

習の5年生総合的な学習の時間では、森とまちづくり調査隊

小学5年生 総合 「まちづくり調査隊」



「なぜ下川でこの仕事をしているんですか？」

下川にはすぐ近くに森がある。樹(立木)と木(木材)のどちらも近くで見ながら仕事ができるからだよ。できるだけ地域の木材を使って、一から人が暮らす家をつくるのは、達成感があるものだよ。

キタクラフト 加藤さん



「みんなに知ってほしいことはありますか？」

動物の命を絶つことに様々な考えの人がいる。でも、心がけていることは、苦しめないように瞬間的に事を終えること。面白がって苦しむのを見るようなことは違う。猟友会メンバーは9人。高齢の人ばかりだから若いハンターを育てていかなきゃ。

下川猟友会 野崎さん



■お問い合わせ 教育委員会 ☎4-2511内線516 ☆4-251111